

いつかじゃなく、
「今」だ。



見上愛

子宮頸がんは、予防する方法があります。

子宮頸がんは、
おもにHPV(ヒトパピローマウイルス)の
感染が原因の疾患です。

罹患人数：毎年
約 **10,000** 人



死亡者数：年間
約 **2,900** 人



20~30 代でも罹患



国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録/厚生労働省人口動態統計) 全国がん罹患データ (2016年~2020年) / 全国がん死亡データ (1958年~2023年)

HPVワクチン接種と20歳を過ぎたら加えて定期的な検診が大切です*1。

HPVワクチン

2024年度(令和6年度) HPVワクチンの公費助成(原則自己負担なし)の対象年齢

キャッチアップ接種は今年度(2025年3月31日まで)で終了となりますが、今年度16~27歳で
キャッチアップ接種期間中*2に1回以上接種している方は、残りの接種を2026年3月31日まで公費で接種できます。

定期接種対象者

小学校6年生~高校1年生相当の女子*3
標準的な接種時期は中学校1年生



キャッチアップ接種対象者

1997年度~2007年度生まれの女性*4
かつ、過去にHPVワクチンの合計3回の接種を完了していない方



今年度16~27歳で、公費でのHPVワクチンの接種を希望される方は、3月末までに医師にご相談ください。

1997年4月2日~2009年4月1日に生まれた方でキャッチアップ接種期間中*2にHPVワクチンを1回以上接種している方は、2026年3月31日まで残りの接種を公費で接種することが可能です。
参照：厚生労働省ホームページ ヒトパピローマウイルス感染症~子宮頸がん(子宮けいがん)とHPVワクチン~ (Accessed Jan. 08, 2025)

子宮頸がん検診

20歳を過ぎたら、子宮頸がん検診を定期的に行いましょう。

ワクチンを接種していても、子宮頸がん検診は必要です。
子宮頸がん検診は、がんやがんになる前の状態(前がん病変)を早期に発見するために行う検査です。

*1: ワクチンと検診で子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。

*2: キャッチアップ接種期間: 2022年4月1日~2025年3月31日

*3: 2024年度(令和6年度)の定期接種対象者は2008年4月2日~2013年4月1日に生まれた方

*4: 2024年度(令和6年度)のキャッチアップ接種対象者は1997年4月2日~2008年4月1日に生まれた方

HPVワクチンの標準的な接種間隔の場合、接種完了までに6か月かかります。接種時の年齢やワクチンの種類により、2回もしくは3回の接種が必要です。

詳しくは、子宮頸がん予防に関する情報サイト [もっと知りたい](#) 子宮頸がん予防 で、ご確認ください。 [子宮頸がん予防 Q](#)

